



羅針盤

豊中市立第五中学校
2021年度 第68期生
進路指導委員会発行
5月17日 第4号

中間テストの答案が返却されていますが、みなさんの日頃の学習成果を発揮することはできましたか。一夜漬けではなかなか良い結果は期待できません。計画的な学習に取り組んでいきましょう。今後は5月27日（木）の全国学力学習状況調査（国・数）、6月11日（金）の第1回実力テスト（国・数・英・理・社）と出題範囲が広いテストが続きます。さて、みなさんはどのような準備をしてこのテストに臨みますか？

◆ 実力テストについて

6月11日（金）に初めての実力テストを予定しています。教科は「国・数・英・理・社」の5科。この実力テストに向けて・・・

【目的】

高等学校などの入試では、中学校での学習内容がどの程度身についているのかをテストという形でみていきます。ですので、中学校で学んだ内容を総合的に見るようなテストです。今までの定期テストと違って、出題範囲は、1年生から今までに学習した部分全部です（範囲を指定している教科もありますが、入試を念頭に置くと、範囲は「中学校での学習内容全て」としておく方がよいです）。このテストで入試でどのくらいの出来が期待できるのか、過去の五中生と比較してどうかを判断し、みなさんの進路指導に活かしていきます。

【対策】

範囲がすごく広い、何やっていいかわからない、やったところで点につながるとは思えない と思ってしまい、勉強もせずに当日を迎える人がいますが、それは大きな間違いです。目標は「入試本番で良い結果を出すことだ」と考えましょう。そして「毎日の積み重ねの先に入試がある」と考えましょう。

では、どんな対策が必要か？ ちょっと苦手かな、けれど、重要なところだと思つてを勉強してみよう。自分が必要な勉強をすることそのものが、自分を伸ばすことになります。頑張ってください。

*「学ぶこと」は一生涯ずっと続くのですが、時間の区切りとしてまずは中学校卒業までをめやすにしよう。

さて、部活動が全面的に中止され、今までよりは時間に余裕があるではないでしょうか。今回はみなさんにひとつ提案です。この長く続いている休校期間を逆に有効に使って、普段じっくり考えることがないであろう「進路について」考えてみませんか。今号では「進路を考えるにあたって大切なこと」を取り上げてみました。また、これからの将来の生き方について考えるために「自分研究」「自分分析」「自分を知る」ということをやってみませんか。

◆ 「進路を考えるにあたって大切なこと」8箇条

- ① 自分を厳しく見つめ、自分の個性、適正、特色、能力を正しくとらえる努力をしよう。
- ② 自分の生活態度や学習成績をさらに高めるよう最大の努力を続けよう。
- ③ 自分の進路について関心を持ち、将来自分はどのような生き方をしようとしているのかということについて真剣に考えよう。
- ④ 学ぶための制度や卒業後の上級学校、産業や職業についての情報を集めて検討するなど自分からすすんで調べる努力をしよう。
- ⑤ 家族や先生などまわりの人たちの意見をよく聞き、十分話し合っって自分の進路の目標をはっきりとらえよう。
- ⑥ 家庭の経済事情について話し合い、奨学金制度やその他の支援制度についての理解を深めよう。
- ⑦ 友人の進路や世間のうわさにまどわされず、自分自身の目標や計画にしたがって主体的に進路を決めよう。
- ⑧ 不安やしんどさは誰もが持っています。その克服は自分ひとりではむずかしいものです。仲間と支えあい、励ましあっていきましょう。また、お家の人や先生たちなど大人に相談することも忘れずに。

◆ 「自分をよく知ること！」が進路を考える第一歩。

「進路」を考えると「自分の生き方」や「将来のあり方（職業も含めて）」について考えることであり、そのためには「自分をよく知ること」が必要です。「自分は何がしたいのか？」「自分が興味・関心を持っていることは何なのか？」「自分が将来やりたい職業は何なのか？」「自分の得意なことはどんなことか？」などを考えていきましょう。

人は「十人十色」といわれるように、それぞれの人にそれぞれのすばらしい個性や特色があります。しかし、実際には「学習成績の良し悪し」だけのものさしでその人をはかろうとする傾向が見られますし、自分のことを判断する傾向も見られます。勉強以外の特色が見落とされがちなのです。

そこで、自分の個性・特色をはっきりとらえ、伸ばしていくために、具体的に次のようなことを考えてみましょう。

- ① 行動や性格
- ② 学習や学校生活・家庭生活での様子
- ③ 健康面や体力面
- ④ 職業や仕事に対する興味・関心
- ⑤ 趣味や特技
- ⑥ 将来の夢や希望

ただし、現在の行動や特色だけで、「●●に向いている、向いていない」という結論を出さない方がよい場合もあります。いろいろな可能性を含めた適性を考えておこう。